

◆ 会議録（概要）

1 開会（13時30分）

2 あいさつ

3 議題

- (1) 市民交流ひろばの設計について
- (2) 管理運営計画について

《質疑》

○設計について

委員：子どもを持つ親として、女子トイレにベビーチェアを設置して欲しい。

公園の周り是一周どのくらいか。ジョギングをする方々のためにその表示をしてあげた方が良いのでは。

市→女子トイレへのベビーチェアの設置については、有効スペース等を考慮し前向きに検討していきたい。

ひろば内の園路は外周で500m程度である。駅前広場から一体となってジョギングや散策ができるように計画している。駒場公園のような競技用の園路ではない。

委員：芝生のひろばにはペットの同伴について検討しているか。

つどいの丘の高低差はどのくらいか。できれば、つどいの丘から新幹線が見渡せるようにして欲しい。

水飲み場について、水遊びをした子どもたちが利用できるように広く使えるようにして欲しい。

砂場は計画しているのか。

市→水飲み場はバリアフリーに対応したものを計画している。配置箇所は、つどいのひろばと、こもれびの森である。

ペットについては、公園は基本的には同伴を禁止している。このひろばについては同伴の可否についてご検討をいただきたい。

つどいの丘の高低差は、1.6mを計画している。ひろば全体に大きなアンジュレーションを付けることは、調整池や南側の民地との関係より難しい。

砂場については、つどいのひろばの舗装が基本的にサンド（砂）を計画しているため、現段階では検討はしていない。

委員：前回管理棟の設置について意見が出たが、管理棟の設置は決定なのか。

また、管理人の配置はどのようにするのか。昼間だけなのか24時間にするのか。

市→管理運営母体を組織していくには、事務所が必要となる。また、ボランティアとして参加いただくには道具を保管する倉庫も必要になるため、管理棟を計画している。今後管理運営について、市の方から案を提示させていただき、ご検討いただきたい。

○管理運営計画について

委員：これだけ大きな公園の管理運営体制について、大きな組織やボランティアが考えられるが、市民のひろばということであれば、区が中心となって組織をつくるのが良いのでは。ボランティアとして参加することは簡単だが、それをとりまとめる組織が大切である。

委員：市民活動サポートセンターは、今年の4月に設置予定のセンターである。現在、どのように活動し、市民の方々のどのようなお役に立てるかワークショップを開催し検討している。

市民活動サポートセンターは「繋げる」「広げる」「支える」をキーワードにしている。市民交流ひろばの管理運営にあたり、市民活動サポートセンターとどのような関係をとろうとしているのか。

市→考え方として、市民協働のため市民や各種団体、企業の方々がボランティアとして参加していただけるための募集の相談やコーディネートをしていただきたい。

委員：事務局とワークショップには、この様な話があることを報告しておく。

サポートセンターが募集するのではなく、募集は市で行っていただき、その中間のサポートをしていくようになる。

委員：公園緑地課の方では、このひろばを管理する組織はないのか。

このひろばに要求されているのは、いろんな方に利用してもらうためにはどのようにしなければいけないかである。駒場公園は管理事務所でイベント等を考えている。市民交流ひろばでは、この任務を公園緑地課で行うのか、サポートセンターにお願いするのか。

市→基本的には市が行う。管理運営については、市とアダプトシステムなどを締結した運営母体をお願いしていくことを考えている。

会長：この委員会として、管理運営計画の基本的な考え方としては市からの提案のあった内容でよろしいか。

→了承

委員：市内の公園には、危険な遊具や遊べない遊具がある。委託管理による定期点検はどのくらいの頻度で実施しているのか。

遊びに行った際に発見した場合、どこに連絡したら良いか分からないので連絡先の表示があったら良い。

市→最低月に1回実施している。昨年度とその前年には、遊具の点検を実施しており、遊具の改修を順次行っている。公園の設置者により管理者が異なるので、表示について検討していきたい。

委員：公園の管理には直営管理、委託管理があり、委託管理については多岐に渡っている。

一つの公園の中でエリアで直営管理、委託管理の部分に分けることは可能なのか。

市→市内の公園はほとんどが、管理をシルバー人材センターへ委託している。シルバー人材センターに委託している公園でも、区の皆さんに管理をお願いしている箇所がある。

委員：委託管理で区や学校で行うことは良いこと。指定管理者制度でうまくいっている施設もたくさんある。指定管理、委託管理の良い所を取り入れて欲しい。

委員：市民活動サポートセンターはシルバー人材センターと同じ形態なのか。

委員→公設民営の組織である。市民の方がいろいろなボランティアをされているが、それぞれのボランティア組織を横で繋げていくサポート役である。今年の4月に開設予定である。

委員：太陽のひろばの芝生では、子どもが遊ぶだけでなく、消防の訓練や催し物ができる。

そのようなイベントを考える方々を市役所内部に専任で設置して欲しい。設置者でなく運営者であった方が良い。

市→ひろばを造るだけでなく、各種イベントの立案・実施ができる組織が大切である。

貴重なご意見として今後検討していきます。

委員：市民活動サポートセンターの役割が大きい。市役所内部でも担当者のご検討をいただきたい。

市→担当部署と相談しながら進めていきたい。

委員：後で評価をする組織も必要ではないか。

委員：ただの散策できるひろばであっていいのか。管理運営の中で、例えばNHKの夏の体操をやるとか、大きなイベントに使用するようにしないとこれだけの大きなひろばがもったいない。管理体制、管理運営をしっかりとしないといけない。

委員：公民館活動での登録制度をご存じか。自分はこういうことができると登録するとインターネットに掲載され、それを見た方から依頼がくる。このひろばでも、登録制度を活用し、イベント開催をしたらどうか。

委員：あれだけの場所に建設することは一つの財産になる。この財産をいかに活用するかを考える企業感覚、経営感覚の所在はどこにあるのか。

市にあるとすれば、市が中心となり管理運営母体を組織していく必要がある。

ボランティア組織ができる内容を明確にする必要があるのでは。施設管理については、専門業者が行うのがベストであり、故障や破損があった場合の連絡程度をボランティアが行うようにした方が良いのでは。

委員：管理運営母体組織はボランティアだが、市民活動サポートセンターに属する方はボランティアなのか。

市→ボランティアです。市民活動サポートセンターは、ボランティアをコーディネートしていただくように考えている。

委員：例えば子どもを集め柳沢運動プログラムを実施することにより人が集まり、愛着が湧き、ボランティアに参加しても良いという人が出てくると思う。

管理運営母体組織とシルバー人材センターは別ということだが、管理棟に居るのは管理運営母体組織の総括責任者であり、シルバー人材センターは別の管理棟に居るのか。

市→管理棟は管理運営母体の組織やボランティアの方々が使用することになります。

委員：総括責任者は募ったボランティアの中から選ばれるのか。そうであれば、この総括責任者の責任は重い。他に仕事を持っている方ならば厳しい。専門職として人選しお願いした方が良い。責任が重いと気軽にボランティアとして参加することが難しくなる。責任を明確にしてボランティアを募った方が良い。

市→総括責任者の責任は大きいため、皆さんのご意見をいただきながら進めていきたい。

会長：管理体制については次回検討を行います。

委員：公園に屋台があったらいいと思わないか。子どもの保育園や児童館のお弁当はコンビニのものである。パラダのクレープ屋は行列ができています。市内の若い人たちが何かを作って売りたいと思っているチャレンジショップにも繋がる。都心では駐車場を時間貸しでお弁当屋として若い人が利用している。

人が集まる仕組みをつくらうとしているのであれば、事業家を育てるという意味でも屋台などあったらいいのでは。

公園のトイレは汚くなる。破損も多い。女性と子供と一緒に入れるトイレの出入り口をゲートにするのか、有料にするのか検討しておいた方が良い。

人を迎えるのであればトイレはきれいな方が良い。

(3)その他

次回の検討委員会は、2月20日を予定しています。今回は実施設計の内容報告と、管理運営計画についての検討を予定しています。また、管理運営について市広報3月号において、実際に管理運営に携わっていただける市民の皆さんを募集し、市民交流ひろばワークショップを4月から開催する予定です。このワークショップでは、実際に管理運営をするための詳細な部分についての話し合いをしていただく予定です。

今後、検討委員会におきましても、このワークショップとの連携を図りながら、管理運営計画の骨格となる仕組みなどについて、委員の皆さんにご議論をお願いしていくようになります。

4 閉会 (15時30分)